



# 年頭にあたって

町議会議長 新田 信一

平成十六年の新年を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平成十五年の年頭には、町民の皆様は期待を胸にスタートを切ったと思いますが、皆様には良い一年であったでしょうか。世界各地で戦争で痛ましい生命、財産、その国の文化などが失われ、今後どのようなようになるのか、先が見えない状況であります。我が国の経済・景気もなかなか上向きにならず、一方、国際化・少子高齢化・情報化が進展していく中で、地方交付税削減と市町村合併が町の存亡に係わる重大な課題となっております。

昨年十一月には衆議院議員選挙が行われ、小泉内閣が再選されスタートしましたが、地方分権の推進の名のもとに、行政・財政改革の中で郵政・道路公団など民営化がどのようになるのか。また、三位一体（国庫補助金・交付税・税源移譲）の改革が、真の構造改革になるのか。地方の市町村の「自己決定、自己責任」がどのようになるのか。私には強制合併にしか思えないのです。しかしながら我が町も、行財政改革の検討をしなければならぬ時期に来ていることも事実と想っている次第です。議会においても、行財政改革等検討特別委員会を設置し、行財政などについて議論しておりますが、我が町が単独で行くには大変厳しい状況にあります。今後、占冠村との任意協議会において占冠村と南富良野町は合併の基本的事項について協議することになり、町民の皆様のご意見を聞く中で、議会としても判断していきたいと考えております。

平成十五年の我が町の状況については、農業では種子馬鈴薯については平年並みと聞いていますが、人参については大変な価格崩壊があり再生産ができない状況と聞いており、大麦については品質の低下、そばについては台風による倒伏など、畑作

物については大変な年であったと思っています。米については収量が減となりましたが、価格が高値で取引され所得が確保されるという情報もあります。畜産については比較的安定していると思われ、まずまずと思っています。

林業については、厳しい状況は変わることなく今後の林業政策に暗い影を投げ、森林の持つ多面的機能はどのようになるのか。我が町は総面積の九十パーセントが国有林を含む山林の町であり、特に世界で地球温暖化対策などが言われている中、山林の持つ役割は非常に大きいものがあると思っています。

商工業については、特に商店の皆様については富良野圏域の中で大量販店の進出による消費の流出、長引く不況による個人消費の低迷など厳しい状況にあると思っています。こうした本町の基幹産業の状況の中で、行政は町民の皆様様の生活はもとより、福祉、財産を守るため、厳しい財政状況ですが、町民の皆様様の声を是非行政・議会にお聞かせいただきたいと思っています。

このような状況で南富良野町は平成十六年のスタートを切った訳であります。本年は、参議院議員選挙の年であり、また我が町の町長選挙もあります。さらには、市町村合併の最大の決断をしなければならぬ年となりますが、町民皆様と共に、行政、議会が一体となり、我が郷土が将来に向けて悔いのない道を選択しなければなりません。

今後とも町財政は、地方交付税の削減などあらゆる面で財源がより一層厳しさを増す中でありますが、先人が築いてくれた我が郷土の更なる飛躍を目指し、住民生活の安定のために皆様方の声にしっかりと耳を傾け、まちづくりのために努力することをお誓い申し上げ、皆様様の益々のご健勝とご隆盛を願い、年頭の挨拶とさせていただきます。

平成十六年 元旦